

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「Instagram」「ライン」に掲載しています。



グ
ラ
ム
ス
タ



ブ
ッ
ク
ス



ラ
イ
ン



Instagramで 糸満市の 魅力を紹介

糸満市では、Instagramを活用して、糸満市で撮影された風景、グルメなど、糸満市の魅力がつまった写真をオリジナルハッシュタグ「#piece_itoman」「#糸満pr大使」「#peace_itoman」を使って一覧できるように共有しています。糸満市の魅力が多くの人に伝わるよう、広報紙でもオリジナルハッシュタグを付けて投稿された写真の一部を紹介していきます。

海面に映る夕陽とスタンドアップパドルを楽しんでいる人のシルエットがとてもおしゃれですね。ずっとみていたら波の音まで聞こえてきそうな写真です。

📷 撮影者「itoman_city_scape」さん



📷 撮影者「keita999」さん

夜空に浮かぶ天の川がとても綺麗に撮影されていて、おもしろい星をつかむために手を伸ばしてしまいそうになる一枚ですね。

旬の話題をお届け!
とれたて

いとれぼ



西崎6丁目を花で
いっぱいにしましょう!



花 西崎6丁目で清掃活動を実施 いっぱい地域清掃会

自治連絡員である仲村裕紀さんの声かけで市道西崎13号線の清掃活動および季節の花の植苗作業などを行う、花いっぱい地域清掃活動が9月20日(日)に行われました。

この活動は、仲村さんが10年前から毎月第3日曜日に実施しているもので、今回は、子どもや高齢者向けの事業所、近隣企業や西崎中学校に声をかけて地域の親睦も兼ねた清掃活動が行われ、50人近くが参加しました。

清掃活動を終えて仲村さんは「花植えや清掃活動を通して地域をきれいにすることで観光にも寄与したい。今回はかなりの活動量だったが、参加者の協力もあり楽しく作業できました。今後も地域の親睦も深められるよう活動を継続していきたいので、地域の人も気軽に参加してもらいたいです」と話しました。



高 地域企業の協力を得た総合学習 嶺中学校で課題解決型学習を実施

高嶺中学校2学年では、新型コロナウイルス感染症予防のため例年実施されていた職業体験活動が中止となったことから、総合的な学習時間を利用して、PBL(課題解決学習)に取り組んでおり、9月24日(木)、生徒たちに課題(ミッション)を提示する講師として琉球新報社の玉城綾乃さんと糸満市場いとま〜るの施設長である長濱良起さんを招待して授業を行いました。

琉球新報社の玉城さんからは「情報を正しく取捨選択して、被災者に物資を届けよう」、糸満市場いとま〜るの長濱さんからは「Withコロナの時代

に大規模なイベントなど開催できない中、どのようにしていま〜るを盛り上げてくれますか?」という課題がそれぞれ提案されました。

PBLは正解が決められていない問題になんらかの解を出す過程で、課題対応能力の向上などが期待されており、高嶺中学校の生徒も、11月5日の最終発表までグループで協力して課題解決に取り組めます。

生徒からは「人の役に立てるようなミッションでやりがいがある」、「これからどう発展していくのかワクワクする」といった声が聞けました。



糸満市について
意見交換しました。

市 糸満高校3年生4人が自主学習として 長にインタビューを実施

9月24日(木)糸満高校3年生の山本滉太さん、知花優太さん、石田聖さん、金城睦斗さんの4人が糸満市役所を訪れ、地域の課題を発見し、課題解決方法を検討するための自主学習の一環として糸満市長にインタビューを行いました。

生徒らはそれぞれが感じる地域の課題として、三和地区の人口減少に対する取り組みや地域行事を継続するための考えなどを市長に質問するなどしました。生徒を代表して金城さんは「今日聞いたことを活かして地域の課題解決まで提案できるようにしたいです」と話しました。



有 コロナに負けるな応援寄附金として 限会社三和総合設計から20万

有限会社三和総合設計の代表取締役が9月4日市役所を訪れ、新型コロナウイルス感染症により、収入が減少した家庭への就学援助や未来ある子ども達を支援してほしいと20万円を贈呈しました。新垣昇盛代表取締役は「新型コロナウイルスの第2波もあり、困窮した世帯が増えることも懸念されることから寄付にいたしました」と話しました。

當銘真栄市長は「5月に引き続き、2度目の寄附をありがとうございます。いただいた寄附金は有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。